

躰(しつけ)を身に付けよう
- 林達夫(りんたつ)さんから学んだこと -

開倫塾
塾長 林 明夫

1. はじめに

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

毎週水曜日の午後 11 時からテレビ東京で「ワールド ビジネス サテライト」という番組が放送されています。9 月 2 日の放送で、開倫塾の新型インフルエンザ対策が紹介されました。御覧になった方もいらっしゃると思いますが、それに関連するお話を少しさせていただきます。

BCP(Business Continuity Plan ビジネス・コンティニューティ・プラン)という言葉があります。Business(事業・仕事)を Continuity(継続)する Plan(計画)という意味で、当塾の行っている新型インフルエンザ対策について取材の申し込みがあり、私が対応させていただきました。番組では、対策の詳細のほかに、塾生の皆さんが通塾する様子や授業の様態も放送されました。

その 2 日前の 8 月 31 日には、「日経ビジネス」という週刊誌の取材を受けました。日経ビジネスも BCP(事業継続計画)についての特集を組み、当塾を含めた取材記事を 2 ページにわたって掲載していました。私は取材の中で、「新型インフルエンザの蔓延と消費不況(買い控え)が重なると、企業として倒産に追い込まれるところもある。それを避けるためには、企業も対策を考えなければならないが、行政や日本銀行を含めた金融機関もぜひ対策を考えていただきたい」という旨のお話をさせていただき、また、お願いもしました。

2. 躰(しつけ)を身に付けよう - 林達夫(りんたつ)さんから学んだこと -

(1)ところで、先月 8 月 20 日に、東京の経済同友会で非常に有名な林達夫さんを当塾の新栃木校にお招きして講演をしていただきました。林さんは「リンタツ」と呼ばれ、青年会議所の OB の方です。林さんのお話にとっても感銘を受けましたので、今日はそれを紹介させていただきたいと思います。

(2)林さんのお話は非常に人気があり、東京都をはじめ全国の小学校、中学校、高等学校、その PTA、あるいはいろいろな会合からひっきりなしに講演の依頼があります。私も、開倫塾でぜひお話をさせていただきたいと思いお願いをしていました。たまたまその日に栃木刑務所の視察があるということだったので、その帰りに寄っていただきました。

(3)お話の内容ですが、林さんはまず「無法松の一生」という歌を 1 番から 3 番までカラオケで歌われました。これで子供たちの心が随分となごみました。

(4)そのあと本題に入り、躰しつけが大切であるとして 5 つのことをお話になりました。最初に話されたのは、「靴を手で揃えよう」ということです。どこかのお宅を訪ねた時、帰宅した時、また学校で靴を脱ぐ場合は、脱ぎ放しにしないで手で揃えることが大事である。自分の靴だけではなく、近くにある靴も同じようにきちんと揃えて気持ちよくするのがよいという内容でした。

- (5)これは非常に素晴らしい考えであると思います。開倫塾でも「開倫塾 15 の躰」というプログラムを作って実践していますが、その最初が「手で靴を揃えよう」です。塾生の皆さんは既にやっていますから、「やっている人は挙手してください」という問いかけに全員が手を挙げました。
- (6)さすがの林さん・リントツさんもこれにはびっくりして「信じられない」と言っていました。開倫塾では、15 の躰の一番目にこの項目を入れて塾生の皆さんにその実践を奨励してきましたので、よくできているようです。林さんには大層お褒めをいただきました。
- (7)次に教えていただいたのは、食事の時のマナーです。この中で一番大事なのは、全員が揃うまで食事に手を付けないことだそうです。特に食事を作って下さった方、例えばお母さんやお父さんが席に着くまでは手を付けない・勝手に食べ始めないことです。それから、年長者(自分よりも年上の方)が手を付けるまでは、手を付けてはいけない・我慢して待っていることも大切であると教えていただきました。
- (8)また、おじいさんやおばあさん、親戚の方にファミリー・レストランなどに連れて行っていただきごちそうになった時は、両手を前に揃えて「ごちそうさまでした」と声に出してお礼を言うことがとても大切であるというお話もありました。これは、お父さんやお母さんであっても同様です。わざわざ時間を割いて、またお金を出して食事に連れて行って下さっているのですから、必ず両手を前に揃えて「ごちそうさまでした」と感謝の言葉を口にすることがよいということでした。
- (9)トイレが汚れていた時は、たとえ自分が汚したものでなくてもトイレトペーパーなどで拭いてきれいにするのがよいとも教えて下さいました。これが3つめです。
- (10)4 つめは、人の話を聞くときはメモを取ることが大事であるということです。一所懸命メモを取り、素晴らしい話はそのメモをもとに周りの人にも伝えてあげると、その内容が自分の身につくことが多いというお話でした。
- (11)5 つめは、何かしていただいた時はお礼の手紙を書いたほうがよいということです。

3. おわりに

- (1)林さんのお話をまとめると、「靴を手で揃えること」「食事をする時は全員が揃うまで手を付けないこと、特に年長者と一緒にいる時は、年長者が手を付けるまで待っていること」「食事の後は『ごちそうさまでした』と必ず言うこと」「どこのトイレでも汚れていたら、自分の家のトイレと同様に気持ちよく使えるようにきれいに掃除すること」「人の話を聞く時はメモを取ること(メモをもとに他の人にその話を伝えると、さらに自分の身につくようになるので)」「よいことをしていただいたら、お礼の手紙を書くこと」がとても大切であるとなります。とても素晴らしいお話でしたので、今日は皆様にご紹介させていただきました。
- (2)ためになる・役に立つ話を聞かれた時は、近くの方々に伝えていく、あるいはそれに対する意見も述べていくようにすると、素晴らしい世の中になるとと思いますので、皆様もよろしくお願い致します。

- 2009年9月12日 -